

## ヘラウキ「尽心作 匠」取扱説明書

この度は、ヘラウキ「尽心作 匠」をご用命いただき、誠にありがとうございます。

ヘラウキ「尽心作 匠」は、薄く、軽く、細く、を製作ポリシーとし、誰にでも使いやすいウキを目指しております。

「尽心作 匠」の特徴として、

- ① 薄く、軽く、細く、を製作ポリシーとしていることから、見た目よりもオモリを背負います。
- ② トップ先端の色を、黒＝パイプ、グリーン＝P C ムク、ブルー＝グラスムクで塗り分けております。これにより、トップの材質が一目瞭然です。
- ③ オモリ負荷量を 0.01 g 単位で表示しています。
- ④ カーボン足、竹足とも先端を 1.0 mm に統一しています。ウキ差し替え時に、ゴム管の変更が不要です。

以下、今回のウキの仕様と標準的な使用方法について、ご説明させていただきます。

1. 銘柄：Type A

2. 用途：底釣り用

3. 仕様

(1) ボディ：孔雀の羽根 2 枚合わせ

(2) 足：竹製 長さ 40 mm、元 2.0 mm → 先端 1.0 mm (塗装前の状態) に削り出し

(3) トップ：ポリカーボ製パイプ細 元径 1.4 mm → 0.9 mm

4. 使用方法

(1) エサ落ち目盛は、トップの塗りが 11 節の場合はトップ先端から 7 節に、トップの塗りが 9 節の場合はトップ先端から 6 節出しが標準です。

(2) なじみ際でさわらせたくないため、トップを短めに設定しています。このため、ボディを出して立ち上がりますが、肩のしぼりがなだらかなことから、スムーズになじみこみます。

(3) ウキがなじみ、戻りがでてからのアタリに的を絞ってください。

(4) カラツンが多発する場合には、ズラシ幅を多くするか、もしくはオモリの破片を巻き込みエサ落ち目盛を 1 つ上にして、トップの復元力を殺してみてください。逆にウキの戻りが悪い場合には、オモリを切ってエサ落ち目盛を 1 つ下にして、復元力を増すようにしてみてください。

5. 修理につきましては、jinshin851@gmail.com までご連絡願います。責任をもって対応させていただきます。

6. お願い

カーボン脚、竹脚ともかなり細く削りだしています。ウキゴムへの抜き差しは、脚の一部だけを持たず、ウキ全体をくるむようにして、慎重に行っていただきますようお願いいたします。脚の一部だけを持って、ウキゴムへの抜き差しを行うと脚折れが発生する場合があります。

上記はあくまで標準的な使用方法です。マルキュー「ダンゴの底釣り夏」のように、底釣り用のエサとして開発されながらも、浅ダナ釣りに多用されているように、釣人の応用でその用途は無限に広がります。

ウキも竹竿と同様、天然素材を使用しており、また全て手作りであることから、外見は同じでも、どれひとつとして同じものはありません。

一方、現代のヘラウキには均一性が求められます。特にトーナメントにおいては、ウキを紛失した際に同じ品番に差し替えても、エサ落ち目盛が変わらないことまで要求されます。これに対応するために、オモリ負荷量をボディに表示しています。

ウキはトータルバランスの要になります。どうか、独自の使用方法を発見してみてください。

この度はありがとうございました。

ヘラウキ尽心工房  
主宰者 北村 滋朗